

【普通科】 1 年次 【必修】科目 「英語表現Ⅰ」授業のシラバス

1 概 要

教科名	外国語科	科目名	英語表現Ⅰ	単位数	2単位（78）
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				
教科書 (出版社)	SELECT English ExpressionⅠ New Edition	副教材 (出版社)	改訂版 Listening Laboratory Basic β		

2 学習の方法

(1) 予習について

教科書を元にして授業を進めていきます。予習として、単元の文法項目をチェックするなど事前に取り組んでください。初めは中学校でも学習した内容も出てきますので、予習というよりは復習を兼ねたものになります。高校で新しく学習する内容も、もちろん、予習をしてから授業に臨むようにしてください。

(2) 授業について

英語表現の授業は、主に英語を用いた表現（書くこと・話すこと）に重点を置いて学習をします。単元で学習した文法項目等を、言語活動を通じて理解を深め、それを基に英作文を書いたり、口頭で発表したりして授業を進めます。また、副教材を用いて、「話すこと」と関わりの大きい「聞くこと」についても演習を重ねます。

(3) 復習について

どの科目についても言えることではありますが、毎回の授業で学習した内容をその日の内に振り返ってください。それでもわからない場合はそのままにせず、教科担任（あるいは外国語科の先生方）に積極的に質問をし、必ず次のステップへ進むための準備を怠らないようにしてください。

〈学習アドバイス〉

英語は「実技教科」です。赤ちゃんが言葉を覚えることができるのは、その言葉を日常的に聞いて音を覚え、わからないなりに声に出して自分の意思を伝えようとするのを繰り返すからです。英語の学習方法には様々なものがありますが、英語表現Ⅰでは、「インプットしたもの（学習した知識）を必ずアウトプットする（声や文字にして相手に伝える）」ことに重点をおいて、授業を進行させます。ですから、授業内で中心となる「書く」活動や「話す」活動に積極的に取り組むことで、みなさんの英語力は必ず向上します。間違ふことや恥ずかしいと思う気持ちを捨てて、仲間や先生方と楽しく英語を学習しましょう。

加えて、英語はもはや暗記教科ではありません。英単語には「イメージ」があります。スペルと意味を丸暗記するというよりは、イメージから意味を想像できるようになると、後に応用力が育まれ、幅広いレベルの英語に対応できる力を身につけることができます。まずは、あなた自身の英語の学習方法から見直してみたいはいかがですか？

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。
② 外国語の表現	話したり書いたりして、情報や考えを適切に伝えることができる。
③ 外国語の理解	聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解することができる。
④ 言語や文化への知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料		定期考査・確認テスト 実力テスト		Attitude	Lesson Quiz	Individual Work	Pair/Group Work
観 点	割合						
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	25%	×	定期考査ではなく、授業内での取組、スピーキングテストやプレゼンテーションで評価をします。	○		○	○
② 外国語表現	25%	○	自分の意見や考えを、「話すこと」と「書くこと」を通して、相手に的確に伝えることができる。		○	○	○
③ 外国語理解	25%	○	「聞くこと」と「読むこと」を通じて、相手の考えや意思を、適切に理解することができる。		○	○	○
④ 言語や文化についての知識・理解	25%	○	英語が持つ言語的性質を理解し、英作文や英会話の際に適切に運用することができる。		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

- ・授業中、学習と関係のない私語は厳禁です。
- ・定期考査は、筆記試験とリスニング試験がそれぞれ5割ずつの割合で出題をします。授業で学習した内容から幅広く出題します。
- ・ライティングやスピーキングテスト、プレゼンテーションの評価の方法や基準については、授業の中で事前に周知をします。
- ・英作文等の課題が出された際には、提出期限をしっかりと守ってください。
- ・授業で使用する教材を忘れてきた者は、授業が始まる前に教科担任に申し出てください。

【普通科】 1 年次 【必修】 科目 「英語表現Ⅰ」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	Part1 Lesson 1: Nice to Meet You	3	T 初対面のあいさつ G 文の要素	全ての レッス ンで① ～④を 総合し て評価 します。	＜各単元における評価の観点＞ ① 演習・ペアワーク・グループワークを積極的な姿勢で行うことができる。 ② 授業内での「話す」活動や「書く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、自分の意見や考えを適切に表現することができる。 ③ 授業内での「聞く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、相手の考えや情報を的確に理解できる。 ④ 授業内で学習した文法や表現を通して、英語という言葉の特性を理解できる。	前期中間考査
5	Lesson 2: What kind of Music Do You Like?	3	T 理由をたずねる／答える G 現在形			
6	Lesson 3: My Treasure	3	T 確認する G 過去形			
7	Lesson 4: This Coming Weekend	3	T 誘いを受ける G 未来の表現			
8	Part2 Lesson 5: Subjects I'm Taking	3	T 賛成する／反対する G 進行形			
9	Lesson 6: Are You in a Club?	3	T 希望を述べる G 現在進行形			
10	Lesson 7: The School Festival Is Soon	3	T ほめる G 現在完了進行形・過去完了形			
11	Lesson 8: Getting to Asahi Senior High School	3	T お礼を言う／答える G 助動詞、命令文			
12	Lesson 9: The Store I Often Go To	3	T 驚きを表す G 受け身			
1	Lesson 10: I Feel Sick	3	T 助言する G 不定詞			
前期のまとめ		2	学習した文法や表現の確認			前期期末考査
後期 10	Part 3 Lesson 11: Volunteer Activity	4	T 依頼する G 動名詞			後期中間考査
11	Lesson 12: Japanese Food	4	T 誘う G 分詞			
12	Lesson 13: Countries Around The World	4	T 満足を表す G 関係代名詞			
1	Lesson 14: Reduce, Reuse, Recycle	4	T 提案する G 比較級			
2	Lesson 15: We Are What We Eat	4	T 意見を述べる G 関係副詞			
3	Lesson 16: An Impressive Book	4	T 列挙する G 仮定法			
4	Part4 Lesson 17: Performing a Skit	8	スキット (ロールプレイ)			
5	Lesson 18: Making a Presentation	8	プレゼンテーション			
6	Appendices Writing a Paragraph and Longer Essays	6	パラグラフライティング エッセイライティング			
7		計 78				後期期末考査

※ 観点別評価①はコミュニケーションへの関心・意欲・態度、②は外国語の表現、③は外国語の理解、④は言語や文化への知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります